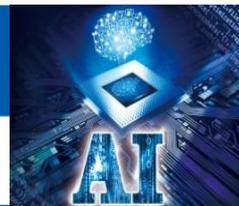


グローバルAIファンド
グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）



AI（人工知能）革命により成長が続くITセクター

※以下、「グローバルAIファンド」を（為替ヘッジなし）、「グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）」を（為替ヘッジあり）と呼ぶことがあります。

平素より「グローバルAIファンド」および「グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）」（以下、当ファンド）を、ご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。以下、当ファンドのマザーファンドの運用を実質的に担当する、アライアンス・グローバル・インベスターズ U.S. LLC（以下、アライアンスGI）のコメントをもとに、組入銘柄のご紹介等を行います。

AI革命の進展によりIT（情報技術）セクターは高い利益成長を維持

- 過去10年間のITセクターの（1株当たりの）利益成長率は、年率で7.4%とセクター別では最大でした。世界株式の利益成長率がマイナスに留まる中、ITセクターは世界経済の成長にとって重要なセクターのひとつだったといえます。
- 今後2年間の見通しでもITセクターの利益成長率は年率で22.3%と、世界株式を上回っており、引き続きITセクターが世界経済の牽引役となることが期待されます。
- AI革命の加速により、ITセクターの利益成長率が現在の予想を上回る可能性も十分にあるとみています。

＜グローバルで見たセクター別の利益成長率＞

（過去10年間（2007年～2016年）、今後2年間（2017年～2018年））

セクター名	過去10年間の実績	今後2年間の見通し
情報技術	7.4	22.3
電気通信サービス	6.3	25.2
一般消費財・サービス	5.4	13.6
生活必需品	5.0	11.5
ヘルスケア	5.0	23.0
資本財・サービス	0.5	20.9
世界株式	-0.4	18.8
公益事業	-2.4	13.2
金融	-4.4	14.5
素材	-4.7	19.3
エネルギー	-18.1	115.0
不動産	2016年に新設	-4.7

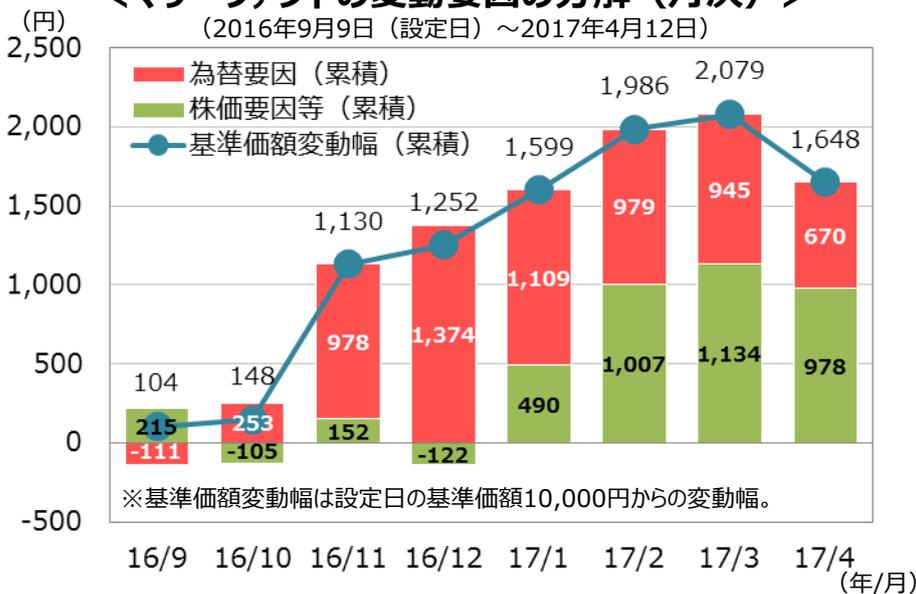
（注1）利益成長率は1株当たり利益の増加率。年率換算後、単位は%。
（注2）各セクターはMSCI ACの各セクター（GICS（世界産業分類基準）セクターベース）指数、世界株式はMSCI ACワールド指数。
（出所）Bloomberg

2017年のAI関連企業は相対的に高い成長が株価上昇をサポート

- マザーファンド設定後2016年12月までは、保有しているAI関連銘柄の株価が一進一退の動きを続ける中、為替市場では円安が進んだことから為替要因主導の基準価額上昇が続きました。
- その後、2017年に入り為替市場が円高に転じる一方で、株式市場ではITセクターを見直す動きとなり、2017年2月以降は、株価要因等が為替要因を上回っています。
- 足元では、地政学リスクが高まっていますが、AIの急速な進化を背景に、AI関連銘柄は相対的に高い成長が期待できる魅力的な投資対象として注目が続いています。

＜マザーファンドの変動要因の分解（月次）＞

（2016年9月9日（設定日）～2017年4月12日）

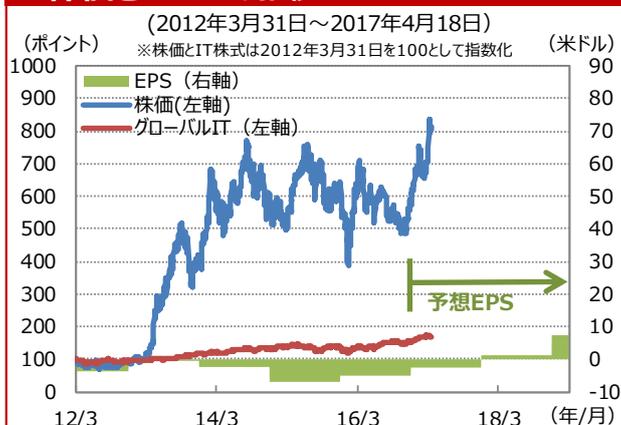


（注1）マザーファンドの基準価額変動幅と、為替要因および株価要因等は1万口当たり。マザーファンドに信託報酬はかかりません。
（注2）変動要因の分解は簡便法によるもの。

※上記は過去の実績および当資料作成時点の予想ならびに見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

組入上位6銘柄の紹介①

(1) テスラ<米国企業、ナスダック>

組入比率第1位
5.2%株価とEPS^{*1}の推移

主な投資指標

今期予想PER ^{*2} (倍)	赤字
中期予想EPS成長率 ^{*3} (%)	35.0
今期予想配当利回り (%)	0.0
実績PBR ^{*4} (倍)	10.2

ひとことという

AI自動車メーカー

事業内容と注目ポイント

自動運転EV（電気自動車）メーカー。AI技術を活用した自動運転EVの開発を行う。自動運転中に走行データを収集し、自ら学習し改善していくフリート・ラーニング機能を備えている。2017年末頃から、注目のモデル3の納車が始まる予定となっている。トレーラー型EVと、ピックアップトラック型EVの開発も進んでおり、順次公開が予定されている。

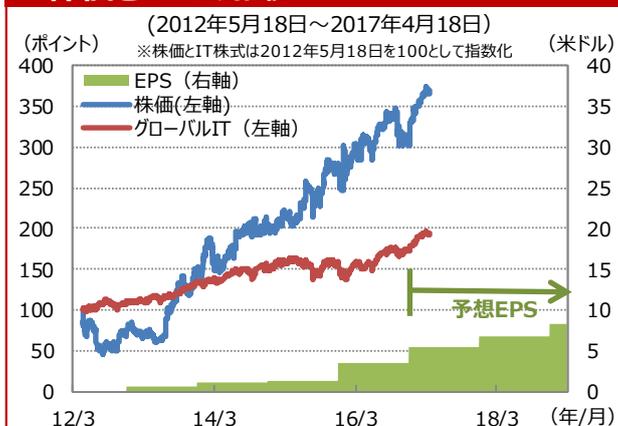
売上と利益の成長率

決算期 (基準)	2015年12月 (実績)	2016年12月 (実績)	2017年12月 (予想)	2018年12月 (予想)	2019年12月 (予想)
売上高成長率 (%)	26.5	73.0	62.5	68.5	38.8
EBITDA ^{*5} 成長率 (%)	赤字化	黒字化	317.5	99.2	63.5

(2) フェイスブック<米国企業、ナスダック>

組入比率第2位
4.8%

株価とEPSの推移



主な投資指標

今期予想PER (倍)	25.9
中期予想EPS成長率 (%)	25.6
今期予想配当利回り (%)	0.0
実績PBR (倍)	6.9

ひとことという

AIのソーシャル・ネットワーク

事業内容と注目ポイント

ソーシャルネットワーキングウェブサイトの運営会社であるとともに、AIプラットフォームのプロバイダー。AI発展の恩恵を、最も受け易い企業の1つ。AIを用いて不適切な画像を発見し削除するなど、AIの活用に取り組んでいる。アマゾン、アルファベット（グーグル）、IBM、マイクロソフト等の米国大手IT企業と共にAIに関する研究および普及を目指すパートナーシップを発表している。

売上と利益の成長率

決算期 (基準)	2015年12月 (実績)	2016年12月 (実績)	2017年12月 (予想)	2018年12月 (予想)	2019年12月 (予想)
売上高成長率 (%)	43.8	54.2	36.9	27.4	22.9
EBITDA成長率 (%)	31.0	80.8	61.2	28.0	24.7

*1 EPSは1株あたり利益。*2 PERは株価収益率。*3 中期予想EPS成長率はEPSの今後3-5年間の予想平均成長率。*4 PBRは株価純資産倍率。

*5 EBITDAは償却引当営業利益。（組入上位6銘柄については、全て同様）

(注1) 組入比率と順位は2017年3月31日時点。組入比率は当ファンドの純資産総額を100%として計算。

(注2) グラフ中のEPSは各日付の属する会計年度末の実績EPSと予想EPS。

(注3) 主な投資指標、売上と利益の成長率は2017年4月18日時点。グローバルITはMSCI AC World 情報技術セクター。

(出所) Bloomberg、リアンツGI

※上記は2017年3月31日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

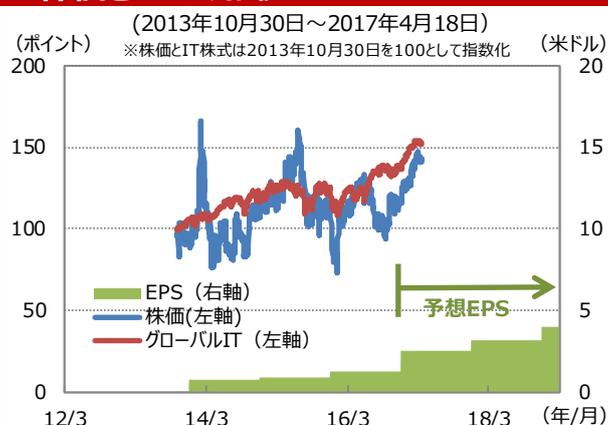
※上記は過去の実績および当資料作成時点の予想ならびに見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

組入上位6銘柄の紹介②

(3) クリテオ<フランス企業、ナスダック>

[組入比率第3位
4.6%]

株価とEPSの推移



主な投資指標

今期予想PER (倍)	19.9
中期予想EPS成長率 (%)	26.1
今期予想配当利回り (%)	0.0
実績PBR (倍)	5.4

ひとことという

AI広告代理店

事業内容と注目ポイント

フェイスブックの広告収入ビジネスを裏で支えるAI広告代理店で、戦略的パートナー。独自開発のAIを駆使し、クッキー（Webの訪問履歴）の情報を活用してEC（電子商取引）サイトの利用者ごとに異なる広告を出現させる等、効率的な広告表示を実現している。企業買収等により、顧客基盤の拡大を図っている。

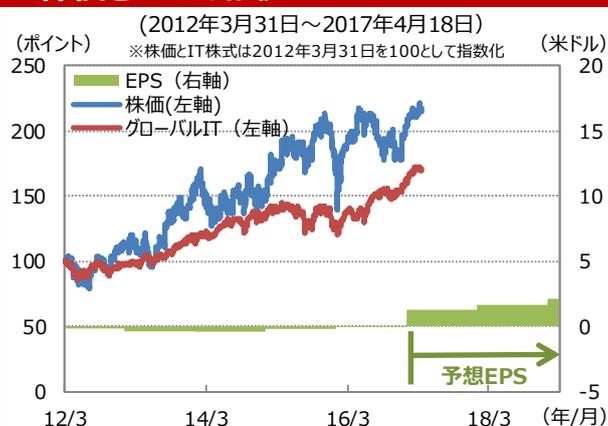
売上と利益の成長率

決算期 (基準)	2015年12月 (実績)	2016年12月 (実績)	2017年12月 (予想)	2018年12月 (予想)	2019年12月 (予想)
売上高*成長率 (%)	32.4	36.7	27.0	20.8	16.1
EBITDA成長率 (%)	35.9	56.6	27.5	29.2	25.9

(4) セールスフォース・ドットコム<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

[組入比率第4位
4.6%]

株価とEPSの推移



主な投資指標

今期予想PER (倍)	66.2
中期予想EPS成長率 (%)	25.5
今期予想配当利回り (%)	0.0
実績PBR (倍)	7.9

ひとことという

AI営業アシスタント

事業内容と注目ポイント

顧客との取引履歴等、営業活動のための顧客管理ソフト（CRM）をクラウドベースで提供。AI機能を活用したEinstein（アインシュタイン）によって、プロセスの自動化や効率化を進めている。2017年3月には、IBMとAIを活用した共同ソリューションの提供のためのグローバル戦略パートナーシップを発表。

売上と利益の成長率

決算期 (基準)	2016年1月 (実績)	2017年1月 (実績)	2018年1月 (予想)	2019年1月 (予想)	2020年1月 (予想)
売上高成長率 (%)	24.1	25.9	21.3	19.5	18.6
EBITDA成長率 (%)	111.7	8.7	221.1	25.9	26.8

*クリテオの売上高は「トラフィック獲得コスト」を除いた実質売上高。

(注1) 組入比率と順位は2017年3月31日時点。組入比率は当ファンドの純資産総額を100%として計算。

(注2) グラフ中のEPSは各日付の属する会計年度末の実績EPSと予想EPS。

(注3) 主な投資指標、売上と利益の成長率は2017年4月18日時点。グローバルITはMSCI AC World 情報技術セクター。

(出所) Bloomberg、アリアンツGI

※上記は2017年3月31日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

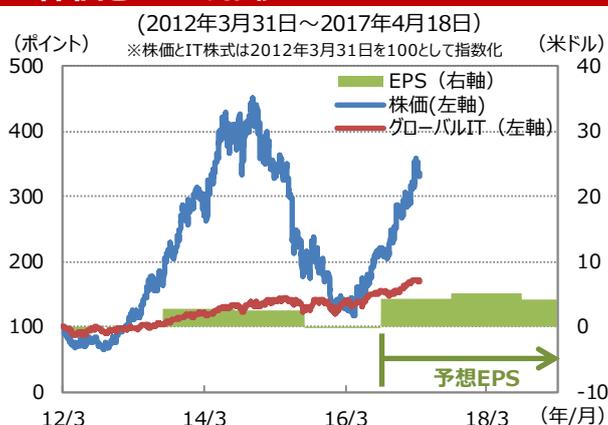
※上記は過去の実績および当資料作成時点の予想ならびに見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

組入上位6銘柄の紹介③

(5) マイクロン・テクノロジー <米国企業、ナスダック>

〔 組入比率第5位 4.0% 〕

株価とEPSの推移



主な投資指標

今期予想PER (倍)	6.3
中期予想EPS成長率 (%)	10.0
今期予想配当利回り (%)	0.0
実績PBR (倍)	2.1

ひとことという

AI半導体メーカー

事業内容と注目ポイント

新しいメモリ技術3D XPointを発表し、2017年中の生産開始を予定している。DRAMとNANDチップの需要は、AI、携帯電話、自動運転車、IoT等の普及により、急速に高まっている。需要の増加に対応するため、DRAM生産能力増強のための買収計画を発表している。

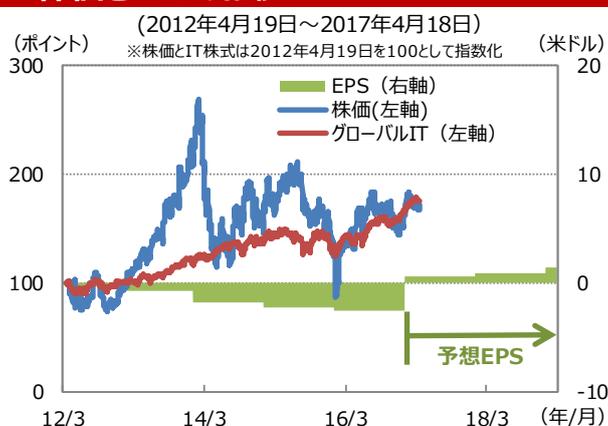
売上と利益の成長率

決算期 (基準)	2015年9月 (実績)	2016年9月 (実績)	2017年9月 (予想)	2018年9月 (予想)	2019年9月 (予想)
売上高成長率 (%)	-1.0	-23.4	58.7	8.7	-1.1
EBITDA成長率 (%)	9.2	-44.4	197.9	9.0	-13.2

(6) スプラク <米国企業、ナスダック>

〔 組入比率第6位 4.0% 〕

株価とEPSの推移



主な投資指標

今期予想PER (倍)	103.4
中期予想EPS成長率 (%)	34.2
今期予想配当利回り (%)	0.0
実績PBR (倍)	10.4

ひとことという

AIの胃腸

事業内容と注目ポイント

膨大なマシンデータを収集、監視、分析、可視化して、AIが栄養として吸収できる形に変える技術を持つ、AIの胃腸のような企業。AI等がデータベースからデータを取り込む際に不可欠なインデックスを割り当て、検索、相関判断、モニタリング、レポートを可能にするソフトウェアを開発している。同社製品を採用する大手企業が増加している。

売上と利益の成長率

決算期 (基準)	2016年1月 (実績)	2017年1月 (実績)	2018年1月 (予想)	2019年1月 (予想)	2020年1月 (予想)
売上高成長率 (%)	48.3	42.1	25.4	26.0	27.2
EBITDA成長率 (%)	赤字継続	赤字継続	黒字化	45.0	40.8

(注1) 組入比率と順位は2017年3月31日時点。組入比率は当ファンドの純資産総額を100%として計算。

(注2) グラフ中のEPSは各日付の属する会計年度末の実績EPSと予想EPS。

(注3) 主な投資指標、売上と利益の成長率は2017年4月18日時点。グローバルITはMSCI AC World 情報技術セクター。

(出所) Bloomberg、アリアンツGI

※上記は2017年3月31日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および当資料作成時点の予想ならびに見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

その他組入銘柄の紹介① (組入比率 第7~11位)

(7) ツイッター<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

〔組入比率第7位 3.3%〕



【ひとことについて】

AI広告プロモーター

【主な投資指標】

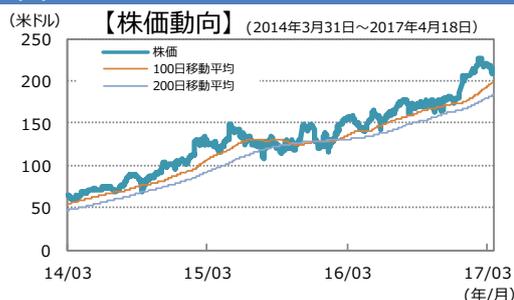
今期予想PER (倍)	50.1
中期予想EPS成長率 (%)	41.2
今期予想配当利回り (%)	0.0
実績PBR (倍)	2.3

【概要および、主な注目点】

リアルタイム短文投稿サービスを全世界で展開。より利用者の関心を引くニュースを表示するためにAIや機械学習を活用。AI技術を活用して、自然言語を理解し虚偽のニュースの拡散を防ぐ製品などを発表している。

(8) プロードコム<米国企業、ナスダック>

〔組入比率第8位 3.2%〕



【ひとことについて】

AI半導体チップメーカー

【主な投資指標】

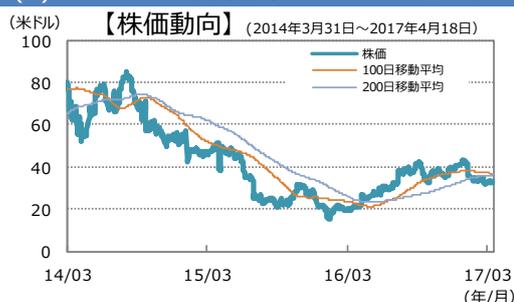
今期予想PER (倍)	14.3
中期予想EPS成長率 (%)	15.4
今期予想配当利回り (%)	1.9
実績PBR (倍)	4.5

【概要および、主な注目点】

ネットワーク用の半導体を提供。ワイヤレスIoT事業の売却を発表するなど事業の選択と集中でコストを削減する一方で、買収によってクラウドコンピューティング市場で事業拡大を進めている。

(9) イェルブ<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

〔組入比率第9位 3.1%〕



【ひとことについて】

AIの地元案内所

【主な投資指標】

今期予想PER (倍)	31.6
中期予想EPS成長率 (%)	25.9
今期予想配当利回り (%)	0.0
実績PBR (倍)	3.2

【概要および、主な注目点】

世界主要都市のレストランや、娯楽施設、病院等の情報を収集し、評価するサービスを展開。独自開発のAIを使って、1億を超えるレビューを整理、分析、評価し、ユーザーに推奨している。

(10) エヌビディア<米国企業、ナスダック>

〔組入比率第10位 2.9%〕



【ひとことについて】

AIを支えるGPUメーカー

【主な投資指標】

今期予想PER (倍)	30.2
中期予想EPS成長率 (%)	9.4
今期予想配当利回り (%)	0.5
実績PBR (倍)	10.1

【概要および、主な注目点】

3次元グラフィックス・プロセッサの設計、開発、販売を手掛ける、画像処理用半導体の大手。世界の主要自動車メーカーに車載用のAIプラットフォームを提供している。

(11) アマゾン・ドット・コム<米国企業、ナスダック>

〔組入比率第11位 2.8%〕



【ひとことについて】

AI電子商取引

【主な投資指標】

今期予想PER (倍)	72.3
中期予想EPS成長率 (%)	35.0
今期予想配当利回り (%)	0.0
実績PBR (倍)	22.4

【概要および、主な注目点】

eコマース(電子商取引)の大手企業であると同時に、AWS(アマゾン・ウェブ・サービス)等のクラウド・コンピューティングでも大手企業。AWSは、同社の成長を牽引する事業に育ち、様々な業種の大手企業に利用されている。

(注) 組入比率と順位は2017年3月31日時点。組入比率は当ファンドの純資産総額を100%として計算。主な投資指標は2017年4月18日時点。

(出所) Bloomberg、アリアンツGI

※上記は2017年3月31日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および当資料作成時点の予想ならびに見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

その他組入銘柄の紹介② (組入比率 第12~16位)

(12) ルメンタム・ホールディングス<米国企業、ナスダック>

〔組入比率第12位 2.4%〕



【ひとことについて】

AIのデータ通信を支える光通信企業

【主な投資指標】

今期予想PER (倍)	21.4
中期予想EPS成長率 (%)	22.7
今期予想配当利回り (%)	0.0
実績PBR (倍)	5.3

【概要および、主な注目点】

光通信および商業用レーザー事業を行う企業。同社の次世代3Dセンシングは、自動運転車、ロボット、ドローン、3Dプリンター、生体認証等に利用される重要な技術です。

(13) ウェスタン・デジタル<米国企業、ナスダック>

〔組入比率第13位 2.3%〕



【ひとことについて】

AIを支える半導体メーカー

【主な投資指標】

今期予想PER (倍)	10.5
中期予想EPS成長率 (%)	9.9
今期予想配当利回り (%)	2.4
実績PBR (倍)	2.2

【概要および、主な注目点】

データストレージ業界のパイオニアの企業。AIの機械学習や、ディープラーニングに必要とされる膨大なデータを、最も効率的に保存できる各種製品を提供している。

(14) ゼンデスク<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

〔組入比率第14位 2.2%〕



【ひとことについて】

AIカスタマー・サービス

【主な投資指標】

今期予想PER (倍)	赤字
中期予想EPS成長率 (%)	26.2
今期予想配当利回り (%)	0.0
実績PBR (倍)	9.2

【概要および、主な注目点】

メール、チャット、会話、SNS、ウェブサイト等を通して顧客に関するデータを集約し、効果的なカスタマー・サービスを行えるソフトウェアを開発。ロボットなどのAIの応用分野に積極的に投資を行っている。

(15) ONセミコンダクタ<米国企業、ナスダック>

〔組入比率第15位 2.2%〕



【ひとことについて】

AI半導体チップメーカー

【主な投資指標】

今期予想PER (倍)	11.8
中期予想EPS成長率 (%)	19.4
今期予想配当利回り (%)	0.0
実績PBR (倍)	3.3

【概要および、主な注目点】

自動車用、産業用等に展開するICメーカー。同社のチップは、AIシステムの基礎となる重要なコンポーネントとなっている。足元では、ADAS (先進運転システム) 等で使用されるイメージセンサーの需要が大きく拡大している。

(16) フィニサー<米国企業、ナスダック>

〔組入比率第16位 2.1%〕



【ひとことについて】

AIのデータ通信を支える光通信企業

【主な投資指標】

今期予想PER (倍)	11.5
中期予想EPS成長率 (%)	25.3
今期予想配当利回り (%)	0.0
実績PBR (倍)	1.9

【概要および、主な注目点】

世界最大級の光通信製品のメーカー。ネットワーク、ストレージ、ワイヤレス、ケーブルテレビ等向けの音声やビデオ、データの高速度通信を可能にする製品を提供している。また、3Dセンシング技術の開発に取り組んでいる。

(注) 組入比率と順位は2017年3月31日時点。組入比率は当ファンドの純資産総額を100%として計算。主な投資指標は2017年4月18日時点。

(出所) Bloomberg、アリアンツGI

※上記は2017年3月31日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および当資料作成時点の予想ならびに見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

その他組入銘柄の紹介③ (組入比率 第17~20位)

(17) アリスタ・ネットワークス<米国企業、ニューヨーク証券取引所>		[組入比率第17位 2.0%]						
(米ドル) 【株価動向】 (2014年6月6日~2017年4月18日) 	【ひとことについて】 AI界の技術顧問	【概要および、主な注目点】 次世代型データ・センターと、クラウド・ネットワーキング・サービスを提供。AI構築に必要な複数のソフトウェアや他社製アプリの統合に不可欠な技術を有しており、多数の大手AI開発企業の技術提携先となっている。						
	【主な投資指標】 <table border="1"> <tr> <td>今期予想PER (倍)</td> <td>35.2</td> </tr> <tr> <td>中期予想EPS成長率 (%)</td> <td>19.1</td> </tr> <tr> <td>今期予想配当利回り (%)</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>実績PBR (倍)</td> <td>8.5</td> </tr> </table>		今期予想PER (倍)	35.2	中期予想EPS成長率 (%)	19.1	今期予想配当利回り (%)	0.0
今期予想PER (倍)	35.2							
中期予想EPS成長率 (%)	19.1							
今期予想配当利回り (%)	0.0							
実績PBR (倍)	8.5							
(18) ニュアンス・コミュニケーションズ<米国企業、ナスダック>								
(米ドル) 【株価動向】 (2014年3月31日~2017年4月18日) 	【ひとことについて】 AI声紋認証	【概要および、主な注目点】 高精度の音声認識、音声入力ソフトウェア等を開発する企業。バーチャル・アシスタントNina (ニーナ) はAIを用いており、クリックや、タッチ入力、スクロール、タイプ入力を行うことなく音声のみで利用が可能。						
	【主な投資指標】 <table border="1"> <tr> <td>今期予想PER (倍)</td> <td>10.6</td> </tr> <tr> <td>中期予想EPS成長率 (%)</td> <td>16.0</td> </tr> <tr> <td>今期予想配当利回り (%)</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>実績PBR (倍)</td> <td>2.5</td> </tr> </table>		今期予想PER (倍)	10.6	中期予想EPS成長率 (%)	16.0	今期予想配当利回り (%)	0.0
今期予想PER (倍)	10.6							
中期予想EPS成長率 (%)	16.0							
今期予想配当利回り (%)	0.0							
実績PBR (倍)	2.5							
(19) スクエア<米国企業、ニューヨーク証券取引所>								
(米ドル) 【株価動向】 (2015年11月19日~2017年4月18日) 	【ひとことについて】 AIオンライン・カード決済	【概要および、主な注目点】 POSシステム等で簡単に決済が出来るユニークな決済処理サービスと、関連するソフトウェアを様々な業種の事業者者に提供している。同社のサービスは強固なセキュリティにより、安全性が高いといわれている。						
	【主な投資指標】 <table border="1"> <tr> <td>今期予想PER (倍)</td> <td>93.3</td> </tr> <tr> <td>中期予想EPS成長率 (%)</td> <td>22.5</td> </tr> <tr> <td>今期予想配当利回り (%)</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>実績PBR (倍)</td> <td>10.7</td> </tr> </table>		今期予想PER (倍)	93.3	中期予想EPS成長率 (%)	22.5	今期予想配当利回り (%)	0.0
今期予想PER (倍)	93.3							
中期予想EPS成長率 (%)	22.5							
今期予想配当利回り (%)	0.0							
実績PBR (倍)	10.7							
(20) ペイパル・ホールディングス<米国企業、ナスダック>								
(米ドル) 【株価動向】 (2015年7月10日~2017年4月18日) 	【ひとことについて】 AIオンライン・カード決済	【概要および、主な注目点】 オンライン決済サービスを提供。販売会社や、消費者に対して、デジタルおよびモバイル決済用のプラットフォームを提供している。米国のデジタル決済市場では最大級のシェアを誇っている。						
	【主な投資指標】 <table border="1"> <tr> <td>今期予想PER (倍)</td> <td>25.0</td> </tr> <tr> <td>中期予想EPS成長率 (%)</td> <td>17.3</td> </tr> <tr> <td>今期予想配当利回り (%)</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>実績PBR (倍)</td> <td>3.5</td> </tr> </table>		今期予想PER (倍)	25.0	中期予想EPS成長率 (%)	17.3	今期予想配当利回り (%)	0.0
今期予想PER (倍)	25.0							
中期予想EPS成長率 (%)	17.3							
今期予想配当利回り (%)	0.0							
実績PBR (倍)	3.5							

(注) 組入比率と順位は2017年3月31日時点。組入比率は当ファンドの純資産総額を100%として計算。主な投資指標は2017年4月18日時点。
(出所) Bloomberg、アリアンツGI

※上記は2017年3月31日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および当資料作成時点の予想ならびに見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

その他組入銘柄の紹介④（組入比率 第21位～49位）

組入比率順位	銘柄名	業種	国	上場市場
21	ギガモン	情報技術	米国	ニューヨーク証券取引所
22	アテナヘルス	ヘルスケア	米国	ナスダック
23	マイクロセミ	情報技術	米国	ナスダック
24	サービスナウ	情報技術	米国	ニューヨーク証券取引所
25	ケイデンス・デザイン・システムズ	情報技術	米国	ナスダック
26	レンディングツリー	金融	米国	ナスダック
27	イクスペディア	一般消費財・サービス	米国	ナスダック
28	ファイア・アイ	情報技術	米国	ナスダック
29	アカシア・コミュニケーションズ	情報技術	米国	ナスダック
30	ニュー・レリック	情報技術	米国	ニューヨーク証券取引所
31	ザイリンクス	情報技術	米国	ナスダック
32	ニールセン・ホールディングス	資本財・サービス	米国	ニューヨーク証券取引所
33	コーナーストーン・オンデマンド	情報技術	米国	ナスダック
34	トレード・デスク	情報技術	米国	ナスダック
35	アクシオム	情報技術	米国	ナスダック
36	フィットビット	情報技術	米国	ニューヨーク証券取引所
37	グルーボン	一般消費財・サービス	米国	ナスダック
38	ベリスク・アナリティクス	資本財・サービス	米国	ナスダック
39	エキファックス	資本財・サービス	米国	ニューヨーク証券取引所
40	ジュニパーネットワークス	情報技術	米国	ニューヨーク証券取引所
41	パンドラ・メディア	情報技術	米国	ニューヨーク証券取引所
42	E P A Mシステムズ	情報技術	米国	ニューヨーク証券取引所
43	パロアルトネットワークス	情報技術	米国	ニューヨーク証券取引所
44	キャップ・ジェミニ	情報技術	フランス	パリ証券取引所
45	ガイドワイア・ソフトウェア	情報技術	米国	ニューヨーク証券取引所
46	ヤフー	情報技術	日本	東京証券取引所
47	フォーティネット	情報技術	米国	ナスダック
48	ホートンワークス	情報技術	米国	ナスダック
49	ワークデイ	情報技術	米国	ニューヨーク証券取引所

※以上、組入銘柄総数49銘柄。

(注) 組入比率順位は2017年3月31日時点。

(出所) Bloomberg、リアンツGI

※上記は2017年3月31日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。



(ご参考) 当ファンドの基準価額の推移

(為替ヘッジなし)

- 2016年9月9日の設定後、2016年10月末頃にかけての基準価額は、10,000円を挟んで一進一退が続きました。
- 2016年11月8日の米国大統領選挙後は、トランプ政権への期待から株式市場が上昇し、為替市場では対米ドルで円安が進行したため、基準価額は大きく上昇しました。
- 2017年に入ると為替市場が円高傾向となり、足元では地政学リスクを嫌気して株式市場の調整色が強まったことから基準価額は軟調な推移となっています。

(為替ヘッジあり)

- 2017年2月10日の設定後、一時上昇する局面もありましたが、全般に一進一退の動きが続きました。
- 足元では地政学リスクを嫌気して株式市場の調整色が強まったことから基準価額は軟調な推移となっています。

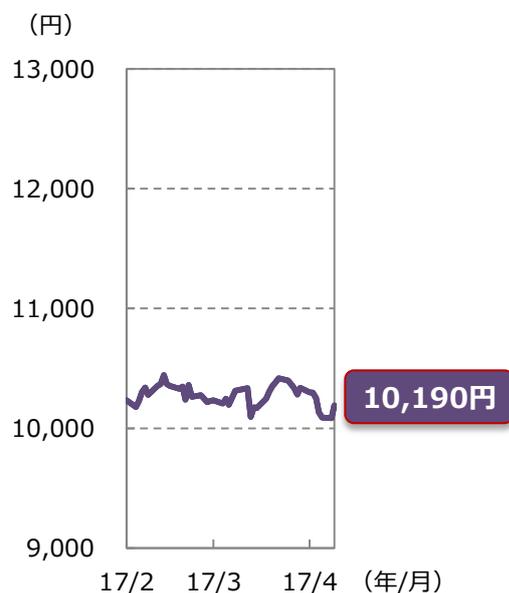
(為替ヘッジなし)

(2016年9月9日(設定日)～2017年4月18日)



(為替ヘッジあり)

(2017年2月10日(設定日)～2017年4月18日)



(注1) 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後。

(注2) (為替ヘッジなし)、(為替ヘッジあり)ともに、2017年4月18日現在において分配を行っておりません。

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果や今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。

※当ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは10ページおよび、当ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの特徴

- 1.世界の市場の中から、AI（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。
- 2.AIに関連する企業の投資戦略に強みをもつ、アリアンツ・グローバル・インベスターズ U.S.LLCが実質的な運用を行います。
- 3.対円で為替ヘッジの有無により、（為替ヘッジなし）と（為替ヘッジあり）の2つのファンドからご選択いただけます。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドのリスク

基準価額の変動要因

ファンドは、主に内外の株式を投資対象としています（マザーファンドを通じて間接的に投資する場合を含みます。）。ファンドの基準価額は、組み入れた株式の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化、為替相場の変動等の影響により上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。

※基準価額の主な変動要因として、○価格変動リスク（株式市場リスク／信用リスク）、○為替変動リスク、○カントリーリスク、○市場流動性リスク等があります。詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の投資リスクをご覧ください。

お申込みメモ（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

購入・換金の申し込み受付日	原則として、申込不可日を除きいつでも購入、換金の申込みができます。
購入単位	販売会社または委託会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目以降にお支払いします。
申込不可日	ニューヨークの取引所またはニューヨークの銀行の休業日のいずれかに当たる場合には、購入、換金の申込みを受け付けません。
決算および配分	年1回（毎年9月25日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
信託期間	（為替ヘッジなし） 2016年9月9日から2026年9月25日まで （為替ヘッジあり） 2017年2月10日から2026年9月25日まで
繰上償還	委託会社は、受益者にとって有利であると認めるとき、各ファンドにつき残存口数が10億口を下回ることになったとき、その他やむを得ない事情が発生したときは、あらかじめ受益者に書面により通知する等の所定の手続きを経て、繰上償還させることがあります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」、未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。ただし、販売会社によっては当ファンドをNISA、ジュニアNISAでの取扱い対象としない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。 ※上記は作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。

ファンドの費用（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

① 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に 3.24%（税抜き3.0%） を上限として、販売会社がそれぞれ別に定める手数料率を乗じた額。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。

② 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に 年1.89%（税抜き1.75%） の率を乗じた額
その他の費用・手数料	上記のほか、ファンドの監査費用や有価証券の売買時の手数料、資産を外国で保管する場合の費用等（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）が信託財産から支払われます。これらの費用に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用状況により変化するため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。

※ファンドの費用（手数料等）の合計額、その上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。

委託会社、その他の関係法人

【委託会社】三井住友アセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。）

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【受託会社】株式会社りそな銀行（ファンドの財産の保管および管理等を行います。）

【販売会社】委託会社にお問い合わせください。（ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。）

【投資顧問会社】アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLC（マザーファンドの運用指図に関する権限の一部委託を受け、信託財産の運用を行います。）

販売会社（2017年4月27日現在）

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	備考
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	
SMB Cフレンド証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第40号	○	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○	
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第3号	○				
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○			○	※1
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2938号	○				※1
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第43号	○				
静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号	○				
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長（金商）第37号	○				
スターズ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第99号	○				
第四証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第128号	○				
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第20号	○				
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号	○				
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号	○				
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○	

※1：「グローバルAIファンド」のみのお取扱いとなります。

販売会社（2017年4月27日現在）

販売会社名	登録番号	登録機関	日本証券業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	備考
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第21号	○		○		
浜銀 T T 証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○				
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○				
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○				
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○		○	○	
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○		○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○				
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第43号	○			○	
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○			○	※1
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第578号	○			○	※1
株式会社大光銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第61号	○				※1
株式会社筑波銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第44号	○				
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第579号	○			○	
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第1号	○				
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第7号	○				
株式会社東日本銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第52号	○				
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○			○	
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第38号	○				※1

※1：「グローバルAIファンド」のみのお取扱いとなります。

重要な注意事項

■当資料は、三井住友アセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。■投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。■当ファンドの取得のお申込みにあつては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

作成基準日：2017年4月18日